

コリント人への手紙第一 16章 12~20節 どうしようもない教会に対する解決策

コリント人への手紙第一、今日は手紙の最後にある言葉から続けます。この手紙の目的は完了しました。パウロが取り組むべき事柄も完了しました。この16章は、手紙の締めくくりの言葉と挨拶です。このことは先週申し上げたとおりです。ただ、この締めくくりの言葉と挨拶の中で、パウロは多くのことを言っています。この手紙は、教会にはびこる罪や不健全な混乱に対処しています。このため、懲らしめの言葉や対決姿勢で書かれている言葉が見られます。ただ、手紙の最後の言葉には、コリントにあるキリストの体に存在する混乱、無秩序を解決するために励ましの言葉が示されています。主に13節から18節には、**どうしようもない教会に対する解決策**と、その実例が示されています。まず、コリント人への手紙16章12節から20節を読んでみることにしましょう。わたしは、コメントを加えながら12節から20節を読み進めます。それから、もう一度13節から14節に戻りたいと思います。

12 兄弟アポロのことですが、兄弟たちと一緒にあなたがたのところに行くように、私は強く勧めました。けれども、彼は今のところ行く意志は全くありません。しかし、良い機会があれば行くでしょう。コリント人への手紙第一の1章で、アポロが初登場したところを皆さんは覚えていらっしゃるでしょう。初めてアポロが登場するのは新約聖書の使徒の働きです。彼はエペソで非常に力強く説教しています。ところが、アポロには理解が不完全なところがあります。キリストが天に帰られた後の洗礼についてです。アポロにこの洗礼を深く理解させるために助けとなったのはアキラとプリスキラでした。彼らについては何節か後に登場します。ここで興味深いことがあります。パウロはアポロよりも地位のある使徒と思われる。ところが、彼は自分の意志を仲間の宣教師に押し付けませんでした。今日、クリスチャンの指導者として仕える長老や牧師の中には、非常に強いリーダーシップが時にその下に仕える人たちを圧迫している人が多すぎます。パウロは、アポロがアポロなりに聖霊の導きに従うことを許しました。このような形で、パウロは真のリーダーシップを発揮したのです。ミニストリーや宣教の働きにおいて、パウロが示したようなリーダーシップが、わたしたちにはもっと必要です。このことについては多くの議論の余地がありますが、本文を続けていきましょう。

13節は続けます。**13 目を覚ましていなさい。堅く信仰に立ちなさい。雄々しく、強くありなさい。14 一切のことを、愛をもって行いなさい。15 兄弟たちよ、あなたがたに勧めます。ご存じのとおり、ステファナの一家はアカイアの初穂であり、聖徒たちのために熱心に奉仕してくれました。16 あなたがたも、このような人たちに、また、ともに働き、労苦しているすべての人たちに従いなさい。17 ステファナとポルトナトとアカイコが来たので、私は喜んでいきます。あなたがたがいない分を、彼らが埋めてくれたからです。18 彼らは、私の心とあなたがたの心を安らがせてくれました。このような人たちを尊びなさい。**今日は13節から18節に注目します。しかし、その前に19節から20節を終わらせておきましょう。**19 アジアの諸教会がよろしくと言っています。アキラとプリスカ、また彼らの家にある教会が、主にあって心から、あなたがたによろしくと言っています。20 すべての兄弟たちが、あなたがたによろしくと言っています。聖なる口づけをもって互いにあいさつを交わしなさい。**先週の説教は、他の教会とのパートナーシップに焦点を当てました。今日、この聖書箇所を読むと、わたしたちは同じようなパートナーシップを見ることができます。彼らは、場合によっては他の教会の名前も知っているほど、お互いをよく知っていました。アキラ、そして、使徒の働きではプリスキラとも呼ばれたプリスカは、前にも述べたように、コリント教会の信徒達が知る人々であったのです。また、名前が分からない兄弟たちであっても、パウロが「**すべての兄弟たちが、あなたがたによろしくと言っています。**」と言うとき、この兄弟たちとコリント教会の信徒達とは関係があり、信徒達はパウロが誰のことを言っているのかを分かっている。それがパウロの書きぶりからハッキリわかります。わたしたちは皆、世界中の地域にいるクリスチャンと物理的に集うことはできません。しかし、地元のクリスチャン同士とは親しい関係を持つことができる、ということなのです。地元のクリスチャン同士の親しい関係は、少なくとも当時、口づけという物理的な方法で表現されて

います。だから、パウロは「**聖なる口づけをもって互いにあいさつを交わしなさい。**」と言っているのです。もちろん、今でも何らかの形で、口づけを実践している国もあります。ただ、これは基本的に、現在のほとんどの西洋文化が実践している握手のようなものでした。この口づけ、初代教会では男性から男性へ、女性から女性へと、親密さやつながりを表現するために実践されていました。要するに、教会内でのつながりは霊的な意味で深く親密であることが前提なのです。そして、お互いの挨拶も、もちろん一線を越えることなく、私的な方法で伝えることが大切です。

13節から18節を読むと、そのような深いつながりが見受けられます。ちなみに、今日、わたしは13節から18節について説教の大半を費やしてお話したいと思っています。もう一度、13節から14節を読みましょう。**13 目を覚ましていなさい。強く信仰に立ちなさい。雄々しく、強くありなさい。14 一切のことを、愛をもって行いなさい。** どうしようもない教会に対する解決策は、この4つの行動の中にあるのです。**目を覚ましていなさい。**パウロが書いたテモテへの手紙第一は、この命令について、いくつかの洞察を与えてくれます。**テモテへの手紙第一 4章 16節**は言います。**16 自分自身にも、教えることにも、よく気をつけなさい。働きをあくまでも続けなさい。そうすれば、自分自身と、あなたの教えを聞く人たちとを、救うことになるのです。**このコリントの教会における問題は、ある意味、教義的なものでした。死者の復活。これはひとつの教義上の事柄でした。霊的な賜物に関する誤解。これはパウロが取り組んだ教義上の事柄でした。ひとたび教会が聖書的な教義事項について真理を得たならば、教会での教えが聖書に忠実であることを確認するため、わたしたちは目を覚ましている必要があるのです。しかし、教会における罪、そして、わたしたち自身の生活における罪に対しても、目を覚ましている必要がありました。あからさまに性的に不道德な生き方をしている男の問題がありました。目を覚ましているから問題は見えるのです。しかし、実際にそういう問題が出てきたとき、強く立ち向かうような信仰生活を送ることはまた別のことです。そこでパウロは、第2の警告として、「**強く信仰に立ちなさい。**」と続けるのです。この警告は、単に教義上の約束を守るだけではありません。自分が信じている事と、言っている事とを、一致させる生き方をすることです。コリントの信仰者達は、周囲にはびこる偶像崇拜の価値観に流されやすく、その価値観にしたがって食べる物まで取捨選択する傾向がありました。当地では、問題は訴訟で解決するという文化がありました。しかし、パウロは、自分たちの権利を守ることよりも、キリストへの従順が優先される、と言いました。今日、信仰に強く立つのではなく、その代わりに、自分の信念や行動を文化やこの世の価値観に委ねて、キリストや神の言葉との関係には委ねない人々が大勢います。

そして、パウロは第3に「**雄々しく、強くありなさい。**」とハッキリと言っています。これはまったく正確な直訳です。しかし、聖句はこのようにダイナミックな直訳の方が良い場合もあります。この「**雄々しく**」という言葉の裏には、勇気を持つという意味があります。他の現代英語訳を見ると、1つを除いてすべてそのように訳しています。世界に対して、もしも、わたしたちがキリストを、身をもって映し出すような人生を送り、わたしたちがキリストを、身をもって映し出すような健全な教会を持とうとするのであれば、わたしたちは強く、雄々しくキリストと共に歩み、強く、雄々しく真理に従順であらねばなりません。ヨシュアはイスラエルの民に、まさにこのような姿勢を持つよう命じたのです。それが**ヨシュア記 1章 9節**です。**9 わたしはあなたに命じたのではない。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたが行くところどこでも、あなたの神、主があなたとともにおられるのだから。**わたしたちは、キリスト・イエスをとおした神との関係の中に、その勇気というものを見出すのです。主はわたしたちの側にいてくださる。詩篇の作者が**詩篇 118篇 6節**で「**6 主は私の味方。私は恐れな**
い。人は私に何ができよう。」と書いています。勇気とは、聖書の価値観は悪であり、差別的であるとすると文化に対して立ち向かう勇気でしょう。また勇気とは、友人や家族でさえも罪を犯している時、教会にはびこる罪に対して立ち向かうことでしょう。キリストに従うことは、臆病者の逃避ではないのです！14節では、最後、第4としてハッキリと述べています。**14 一切のことを、愛をもって行いなさい。**このことは、コリント教会が何よりもまず修正すべき事と言えま

す。クリスチャン生活の焦点は、神を愛すること、他者を愛することである。イエス様はこう指摘しています。マタイの福音書 22 章 37 節から 40 節は言います。37 イエスは彼に言われた。「『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』 38 これが、重要な第一の戒めです。 39 『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。 40 この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。」イエス様は、他の信仰者を愛することはイエスの弟子であることを証しするものだ、とも言っています。ヨハネの福音書 13 章 35 節は言います。35 互いの中に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。コリント人への手紙第一の中で取り上げてきた数々の問題の解決策として、パウロは愛による一致に強く注目しました。彼は、愛が誰にでも与えられる霊的な賜物であることを説明するために、13 章全体を費やしてさえいます。わたしたちは、聖書の教義に完全に目を覚ましていくことができます。そして、わたしたちは、信じている真理を、勇気を持って大胆に実践していくことを約束します。しかし、もし、わたしたちが愛することをしないならば、コリント人への手紙 13 章 2 節から 3 節にあるように、わたしは "無" なのです。

パウロは、この箇所ですら数人の名前を挙げ続けています。もちろん、キリストに関わる人々の例として、彼らを指し示しているようです。15 節から 18 節をもう一度読んでみましょう。15 兄弟たちよ、あなたがたに勧めます。ご存じのとおり、ステファナの一家はアカイアの初穂であり、聖徒たちのために熱心に奉仕してくれました。16 あなたがたも、このような人たちに、また、ともに働き、労苦しているすべての人たちに従いなさい。17 ステファナとポルトナトとアカイコが来たので、私は喜んでいますが、あなたがたがいない分を、彼らが埋めてくれたからです。18 彼らは、私の心とあなたがたの心を安らがせてくれました。このような人たちを尊びなさい。パウロは、教会生活に違いをもたらす 4 つのハッキリとした命令を出しました。目を覚まして...しっかりと立ち...勇気を持ち...そして、愛情を持つこと。さて、パウロはこれらの命令を実践する人物として、ある人々について話しています。パウロは、教会はステファナ、ポルトナト、そしてアカイコのような人物に従うべきだと言います。特に、ステファナとその家族は聖徒たちのために熱心に奉仕してくれました、と彼は言うのです。この言い方は、教会生活に変化をもたらすためにパウロが命じている形で彼らは生活している、ということを示しているのです。他者に対して献身的に奉仕することは、少なくとも、教会で他者とかがかわる生活における愛の特徴なのです。パウロを含むステファナとその家族、ポルトナト、アカイコが示した他者への接し方は、教会すなわちキリストの体に多大な変化をもたらしました。パウロは、彼らが一緒になって、パウロ自身の心と教会の他の人々の心を安らがせてくれた、と言っているのです。わたしたちが、目を覚まして、堅く信仰に立ち、雄々しく勇気をもって、そして何よりも愛をもって行え、という命令を実行するとします。その時、わたしたちは、彼らの心を安らがせる方法で実行しているのでしょうか？わたしたちはコリント人への手紙第一を読み進めてきました。すると、わたしたちは、コリントの教会を、あまり健全とはいえない教会、場合によっては異なる派閥が支配権を争っている教会、階級社会の外圧が教会内にも存在している教会として見るようになります。もし、皆さんがコリントに住んでいたとしたら、コリント教会は異教世界からのストレスから解放され、安らぎを得るために集まる場所だとは思えないでしょう。しかし、明らかなことがあります。それは、コリント教会の中には教会として集まる目的を見失わなかった人々がいた、ということです。こうした人々がコリント教会にあって他者に対する配慮をしていたからこそ、信仰者の集まりが、そこに交わる人々の心に安らぎをもたらす場所となったのです。

皆さんやわたしの存在は、教会をどのようなものになっているのでしょうか？わたしたちが聖日礼拝に参加した時、人々の心が安らぐような教会になっているのでしょうか？教会にやって来る人々は、教会が、日常生活の世界から離れて心の安らぎを得る場所、この世のストレスから離れて休める場所であることを知るべきなのです。イエス様はマタイの福音書 11 章 28 節から 29 節で言います。「28 すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。 29 わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわた

しのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。」もし教会が健全であり、信徒が一致しており、信徒同士が互いに愛に満ちているならば、その教会は、こうした信徒の集まりにやって来る人々に対して、イエス・キリストを目に見える形で表現することができるのです。罪は、キリストを信じていない人すべてが負う重荷です。わたしたちは罪深く壊れた世界に住んでいるので、その罪によって引き起こされる仕事、家族、社会、政府、自分自身からの圧力に直面しています。わたしたちの罪は、最終的には神の正当な怒りのもと、わたしたちを永遠の裁きと死に追いやるものです。このことは真実であり、わたしたちにとってこの真実は重荷なのです。しかし、イエス様はこの罪の代償を払うために十字架上で死なれました。ローマ人への手紙 5 章 8 節はこう言います。8 しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。わたしたちは罪人たちに示したい。今日ここにいるキリストを知らないあなたに、イエス・キリストの中に安息があるのだ、と示したいのです。イエス・キリストは、わたしたちの罪のために刑罰を負ってくださいました。だから、わたしたち自身から罪の重荷が取り除かれるのです。わたしたちは、キリストの犠牲に基づいて、父なる神から赦されるのです。わたしは願っています。皆さんがこの建物のドアから入って、横浜国際バプテスト教会の礼拝に参加する時、キリストを知らない人であっても、イエス・キリストとの関係から得られるものを味わってほしい、魂に安らぎを得て欲しい、と。健全な教会を築いて、わたしたちの体や共同体を陥れようとする罪を解決する。そのためにわたしたちが教会においてできることは、勇気をもって他者を愛し、他者に仕え、罪と福音の真理とシッカリと向き合う場所となることです。これ以上のことはありません。目を覚まして...しっかりと立ち...勇気を持ち...そして、愛情を持つこと。そのとき初めて、わたしたち教会は信徒同士が一致した心安らいだ集まりとなります。すると、わたしたちの教会は神から召された使命ある教会として、世界に出て行くことになるのです。祈りましょう。

1 Corinthians 16:12-20 The Solution to a Messy Church

Today we continue with these final words of the book of 1 Corinthians. As I said last week, the purpose of the book and the issues he needed to address are completed, and what we have in 1 Corinthians 16 are his concluding thoughts and greetings. But he says a lot in these thoughts and greetings. After a book that has included a lot of words of correction and confrontation in addressing sin and unhealthy messiness in the church, we see in these final words an encouragement to fix the messiness, the disorder that existed in the body of Christ there in Corinth. Primarily in verse 13-18, we see **the solution to a messy church**, and an example of that solution. Let's begin by simply reading through 1 Corinthians 16:12-20 today. I will make a few comments about the passage as we read it, and then I want to come back to verses 13-14.

12 Now concerning our brother Apollos, I strongly urged him to visit you with the other brothers, but it was not at all his will[b] to come now. He will come when he has opportunity. Perhaps you remember way back to 1 Corinthians 1 where Apollos first comes up in this book. He first appears in the book of Acts preaching in Ephesus with very powerful speech, but an incomplete understanding of baptism following Christ's return to Heaven. Aquila and Priscilla mentioned a few verses from now actually helped him understand baptism more fully. It's interesting that Paul who would seem to be the apostle with more status than Apollos, did not force his will on his fellow missionary. Too many men in Christian leadership who serve as Elders or Pastors today are very strong leaders, but that leadership is sometimes oppressive to those who serve underneath them. Paul demonstrated true leadership in allowing Apollos to follow the Holy Spirit's leading as he understood it. We need more of this type of leadership in ministry and missions. There is much more we could say about this, but let's continue through the text.

Verse 13 continues, **¹³ Be watchful, stand firm in the faith, act like men, be strong.**
14 Let all that you do be done in love. ¹⁵ Now I urge you, brothers^[c]—you know that the household^[c] of Stephanas were the first converts in Achaia, and that they have devoted themselves to the service of the saints—¹⁶ be subject to such as these, and to every fellow worker and laborer. ¹⁷ I rejoice at the coming of Stephanas and Fortunatus and Achaicus, because they have made up for your absence, ¹⁸ for they refreshed my spirit as well as yours. Give recognition to such people. These verses are the verses I want to focus on today. But first let's finish with verses 19-20. **¹⁹ The churches of Asia send you greetings. Aquila and Prisca, together with the church in their house, send you hearty greetings in the Lord. ²⁰ All the brothers send you greetings. Greet one another with a holy kiss.** The sermon last week focused on partnering with other churches, and here we see that same partnership. They knew each other well enough to know names in other churches in some cases. Aquila and Prisca, also called Priscilla in Acts, were known to them as we mentioned before. And even for those they didn't know by name, Paul clearly indicates they have a relationship with and know who he means when he says **the brothers send you greetings**. And while we all can't be together with Christians in other parts of the world physically, we can have close relationships with those Christians we fellowship with locally. That relationship is expressed in a physical way, at that time at least, with a kiss. So Paul says, **"Greet one another with a holy kiss."** Some countries of course still practice some form of this, but this was basically like the handshake that most western cultures now practice. The kiss as practiced in the early church was not between men and women, but practiced from men to men and women to women to

express closeness and connection. The point is that our connection within the church is supposed to be deep and intimate in a spiritual way, and even our greetings to each other should show that in a personal way, of course without crossing any improper lines.

We see those deep connections in the verses that I want to spend the majority of time on today, verses 13-18. Let's read verses 13-14 again. ¹³ **Be watchful, stand firm in the faith, act like men, be strong.** ¹⁴ **Let all that you do be done in love.** This is the fix for the messy church in these 5 actions. **Be watchful!** Paul's first letter to Timothy gives us some insight on this command. ¹ **Timothy 4:16 says,** ¹⁶ **Keep a close watch on yourself and on the teaching. Persist in this, for by so doing you will save both yourself and your hearers.** The problems in this church in some ways were doctrinal. The issue of resurrection from the dead was a doctrinal issue. The misunderstanding of spiritual gifts was a doctrinal issue that Paul addressed. Once the church has the truth on these Scriptural matters of doctrine, they and we need to be watchful of the teaching in the church to ensure it remains true to the Bible. But there was also a need to be watchful of sin in the church and in our own lives, and not turn a blind eye to either one. That was the problem of the man who was blatantly living a sexually immoral lifestyle. But its one thing to see the problem, because you are being watchful; it's another thing to actually live out your faith in such a way that you stand strong against those things when they come up. So Paul continues with his second admonition, **stand firm in the faith.** This is not just standing up for doctrinal commitments, but living in a way that is consistent with what you say you believe. These believers in Corinth had been prone to letting the values around them of idolatry shape their choices, even in what they ate. The culture said that lawsuits were the way to solve problems, but Paul said that their obedience to Christ took precedence over defending their rights. Today, there are many people who instead of standing firm in the faith, are letting the values of our culture and this world determine their beliefs and actions rather than their relationship with Christ and the Word of God.

Then in the 3rd statement, he says **"act like men, be strong."** Now, this is a completely accurate, literal translation. However, this is why sometimes a more dynamic equivalent translation of Scripture is better in some ways. The meaning behind this phrase **"act like men"** is to be courageous, and all but one other modern English translation translates it in that way. If we are going to live a life that reflects Christ to the world, and have a healthy church that reflects Christ corporately to the world, then we have to be strong and courageous in our walk with Christ and in our commitment to the truth. This is the exact attitude that Joshua talks about when he commands the Israelites to have courage in **Joshua 1:9. Have I not commanded you? Be strong and courageous. Do not be frightened, and do not be dismayed, for the Lord your God is with you wherever you go.** We find courage in our relationship with God through Christ Jesus. With him by our side, we can say with the Psalmist in **Psalm 118:6, The Lord is on my side; I will not fear. What can man do to me?** It will take courage to stand against the culture that says Biblical values are evil and discriminatory. And it will take courage to confront sin in the church when it is friends and even family that are committing that sin. Following Christ is not for cowards!

Then in verse 14, he gives one final 4th statement. **Let all that you do be done in love.** This could be seen as the overriding fix for this church. Jesus points to love for God and love for others as the entire focus of the Christian life. **Matthew 22:37-40 says,** ³⁷ **And he said to him, "You shall love the Lord your God with all your heart and with all your**

soul and with all your mind. 38This is the great and first commandment. 39And a second is like it: You shall love your neighbor as yourself. 40On these two commandments depend all the Law and the Prophets.” He also said love for other believers defines our testimony as a follower of Christ. John 13:35 says, By this all people will know that you are my disciples, if you have love for one another.” And in this first letter to the Corinthians, Paul has strongly focused on that unity found in love as the solution to the problems he addresses in the book. He even spent an entire chapter, 1Corinthians 13, in explaining love as a spiritual gift that is available to everyone. We can be completely watchful of our doctrine, firm in our commitment to living by that truth we believe in a courageous and bold way. But if we do not love, then as the 1Corinthians 13 says in verses 2 and 3, I am “nothing.”

Of course Paul continues to list a few names in this passage, and it seems that he is pointing to them as examples of this type of commitment to Christ. Read verses 15-18 again. ¹⁵ Now I urge you, brothers^[c]—you know that the household^[d] of Stephanas were the first converts in Achaia, and that they have devoted themselves to the service of the saints— ¹⁶ be subject to such as these, and to every fellow worker and laborer. ¹⁷ I rejoice at the coming of Stephanas and Fortunatus and Achaicus, because they have made up for your absence, ¹⁸ for they refreshed my spirit as well as yours. Give recognition to such people. Paul gave 4 clear commands that make a difference in the life of the church. Be watchful...stand firm...be courageous and be loving. Now he talks about some men who live out those commands. He says that the church should be subject to men like Stephanas and Fortunatus and Achaicus. He specifically says that Stephanas and his family have devoted themselves to the service of the saints. This shows the type of life that Paul is commending to make a difference in the life of the church. That devoted service to others at the very least demonstrates the love that should characterize our life with others in the church. The way they and Fortunatus and Achaicus treated others including Paul made a tremendous difference to the church, the Body of Christ. Paul says that together, they refreshed his spirit and others in the church. As we live out those commands to be watchful, to stand firm, to be courageous and above all to be loving, are we doing it in such a way that as people interact with us we are refreshing their spirit? As we have worked through this book of First Corinthians, we have gotten the picture of a church that was not very healthy, a church where different factions were fighting for control in some cases and where the outside pressures of class based society were present even in the church. It doesn't sound like a refreshing place to gather and find rest from the outside stress of the pagan world that you live in if you lived in Corinth. But clearly there were some in the church who never lost sight of the purpose of our gathering as the church. And because of their care for others in the church, they made that gathering of believers a refreshing place for those they interacted with.

What are you and I making the church to be with our presence? Are we making the church a place where people are refreshed in their souls when they join us for worship? When people come into the church, they should find a place of refreshment from the world around them that they live in every day and a place of rest from the stresses that this life places on us. Jesus says in Matthew 11:28-29 Come to me, all who labor and are heavy laden, and I will give you rest. 29 Take my yoke upon you, and learn from me, for I am gentle and lowly in heart, and you will find rest for your souls. If a church is healthy and loving towards each other in their unity, then the church will be a visible

representation of Jesus Christ to those who come into the gathering of those believers. Sin is a burden that everyone without Christ carries and because we live in a sinful and broken world, we face pressures from work from family, from society, from government, from ourselves brought on by that sin. Ultimately our sin will send us to eternal judgement and death under the just wrath of God, and this truth should be a burden to us. But Jesus died on the cross to pay the price for that sin. [Romans 5:8 says, 8 but God shows his love for us in that while we were still sinners, Christ died for us.](#) We want to show sinners and if you are here today and do not know Christ, we want to show you that there is rest in Jesus Christ. The burden of sin can be lifted off of us because Jesus Christ paid the penalty for our sin and we can be forgiven by God the Father based on Christ's sacrifice for us. When you walk through the doors of this building into the gathering of Yokohama International Baptist Church, I hope that what you find is refreshment for your soul that gives even those without Christ a taste of what you will find in a relationship with Jesus Christ. There is nothing we can do in the church that will do more to build a healthy church and fix whatever mess sin has led to in our body or any church body than to be a place where we love and serve others courageously, while firmly confronting their sin with the truth of the gospel. Be watchful...stand firm...be courageous and above all be loving, then we will be a place of unity and refreshment so we can go out from our gathering into the world to be the church on mission that God has called us to be. Let's pray.